

田原小だより



第686号

令和4年9月30日

台東区立田原小学校

校長 佐藤 貴生

爽やかな季節の中で伸びゆく田原っ子！

副校長 地平 憲司

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、「暑い！」から「爽やか」に移ってきていることを実感できる日が増えてきました。先日は、観測史上最大級といわれた台風14号の影響が懸念されましたが、学校関連では大きな被害もなく、子供たちは元気に登校できました。ただ、日本に接近する台風は年10個前後、上陸する数は3個前後といわれています。子供たちには、防災意識がしっかり育つよう日頃からしっかり指導してまいります。

さて、子供たちは、10月1日の運動会に向けて、「個人種目」、「団体種目」、「表現」の各練習に汗を流しています。始業前には、「田原バンド」と「フラッグ隊」が、休み時間には「紅白応援団」が一生懸命練習しています。そこには、今も昔も変わらない「子供たちの姿」が見られます。運動会は、1年生から6年生までが一体になれる、なくてはならない学校行事だと改めて思います。

私も高学年を担当した時には、組体操はもちろんですが、今年6年生が披露する「ソーラン節」にも思い出深いものがあります。「ソーラン節」が注目され、運動会表現の定番になったのは、今から20数年前に有名な学園ドラマで取り上げられたことも大きかったのではないのでしょうか。また、その「ソーラン節」は、民舞をもとに「南中ソーラン（稚内市立稚内南中学校のソーラン節）」として広がったものでした。「南中ソーラン」が誕生するまでの逸話も含めたビデオを当時担任した子供たちと鑑賞しながら、「かっこいい」「自分たちもやってみたい」「頑張ろう！」となったことが昨日のように思い出されます。6年生には、是非、気持ちの入ったソーラン節を披露してほしいと願っています。

そして、毎年当たり前のように開催される運動会ですが、子供たちにとっては、その学年で味わえる一生に一度の大切な思い出作りの場であり成長の場です。すべての田原っ子、地域・保護者の方々にとって思い出に残る素晴らしい運動会になるよう、子供たちと教職員全員で頑張ってきた成果を披露したいと思います。

いよいよ10月、「天高く馬肥ゆる秋」といわれるように、子供たちがたくさんの学びを吸収し、成長していけるよう日々取り組んでまいります。ご支援の程よろしく願いいたします。

◇◆◇生活指導部より◆◇◆

生活指導部 高橋 浩之

10月の生活指導月目標は、「田原小学校のきまりを守ろう」です。校内では、チャイムがなった時に着席できず、授業の開始が遅れてしまう様子も時々見受けられます。時間に余裕をもって行動することは、落ち着いた生活をするのに繋がります。時間を大切にすることを意識して、学校生活を送る上で最適なこの季節、集中して実りある学習が進められるよう、環境を整えていきたいと思います。

田原小学校では、毎年10月から標準服と校帽を冬物に衣替えしています。しかし、10月はまだ暑くなる日もありますので、10月中は移行期間として、夏服でも可とします（ただし校帽は冬物）。ご対応をよろしく願いいたします。